



地方公務員共済組合連合会

(地方公務員関係共済組合職員共同採用試験実施組合)

2026年度 職員採用案内



組織・事業概要

地方公務員共済組合の事業運営を支えるために設立された連合組織

地方公務員共済組合連合会は、地方公務員の年金制度の健全な運営を維持していくため、地方公務員共済組合が行う年金制度に係る事業の適正かつ円滑な運営を図ることを目的として1984年(昭和59年)に設立されました。当連合会は、すべての地方公務員共済組合と全国市町村職員共済組合連合会をもって組織する連合組織です。



連合組織ならではの多様な事業

当連合会は、設立の目的を達成するため、様々な特色ある事業を行っています。

年金積立金の管理・運用

共済組合の年金給付の資金が不足した場合に備え、年金資金を積立て、運用を行っています。また、共済組合全体の年金積立金の運用が適切に行われているかの管理を行っています。

技術的及び専門的知識、資料等の提供

年金制度に係る事業を実施するため、年金計算を行うシステム等を開発し、共済組合に提供しています。また、共済組合に向けて、各種研修会の開催、各種広報、資料等の提供を行っています。

厚生年金拠出金・交付金に関すること、基礎年金拠出金の納付

共済組合が負担する拠出金を集約し、まとめて厚生労働省に拠出しています。また、共済組合が交付を受ける交付金を厚生労働省から一括して受け取り、それぞれの共済組合に交付しています。

付与率・基準利率、保険料率等の算定

地方公務員が加入する年金払い退職給付制度について、年金額を算定する率や保険料率等を算定しています。また、年金払い退職給付制度の運営に当たって財政検証及び財政再計算を行っています。

年金から特別徴収した介護保険料等の納入

共済組合が年金から特別徴収した介護保険料、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料及び個人住民税を集約し、市町村に納付しています。

マイナンバー制度における年金関係の情報連携

共済組合の年金給付事業におけるマイナンバーの利用にあたり、マイナンバー制度を活用した情報連携を円滑に実施するためのシステムを開発し、運営を行っています。

様々なバックグラウンドを持つ人材が集まる組織体制

当連合会には、新卒採用で採用した職員だけでなく、国、共済組合や民間企業からの出向者も多く在籍しています。職員数は約90名ほどですが、様々なバックグラウンドを持つ職員がいる環境は設立当初から変わりません。専門知識を持つ職員と共に仕事ができることは得るものも多く、この特徴ある環境も当連合会の魅力の一つです。

当連合会の中核をなす3つの事業

様々な特色ある事業の中でも、当連合会の中核をなす3つの事業についてご紹介します。

01 年金積立金の管理・運用

共済組合の年金給付に係るセーフティネット

当連合会では、共済組合の年金給付事業が円滑に行われるよう、年金積立金を積み立てて管理運用し、各共済組合において年金給付のための資金が不足した場合に、必要な額を共済組合に交付しています。

そのため、各共済組合から年金資金の一部の払込みを受けて、積立金の資金規模を大きくした上で、国内外の債券市場及び株式市場において運用を行い、共済組合への資金交付に備えています。このように、地方公務員の皆さまへ安定的に年金を支給できる仕組みとなっています。



長期的な観点からの安全かつ効率的な運用

運用の収益は、短期間でみると大きく変動することがありますが、長期間でみると資産を分散することで、安定したパフォーマンスを獲得できる傾向があります。

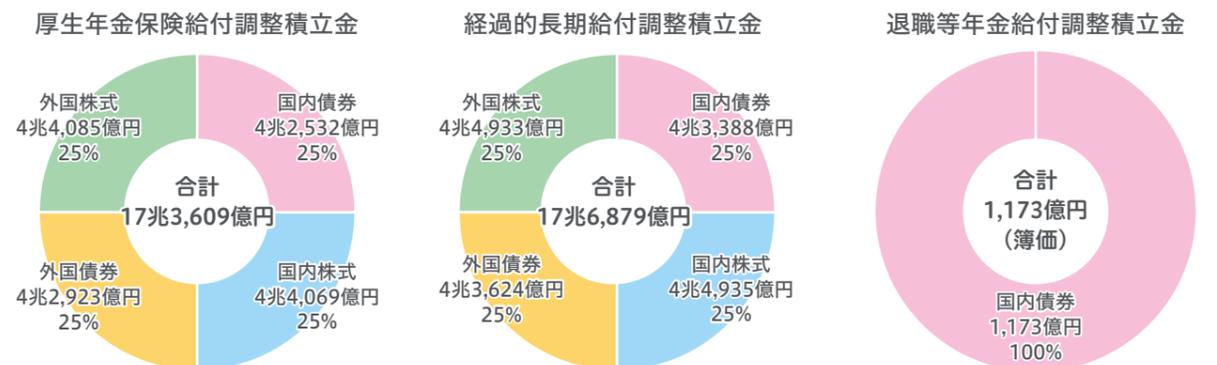
このことから、年金積立金の管理及び運用については、管理及び運用の基本的ルールとなる基本方針を定め、それに基づいて長期的な観点から安全かつ効率的な運用を行っています。

投資活動を通じた市場全体の成長

当連合会は、地方公務員の皆さまからお預かりした約35兆円(令和5年度末時点、時価)の資金を運用する世界でも有数な機関投資家です。

近年、投資活動を通じて市場全体の持続的な成長を促すことが長期的な収益につながるという考え方が注目されていますが、当連合会は、非財務情報を考慮したESG投資(E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス))に早くから取り組んでいます。

年金積立金の資産額と資産構成割合



02 年金払い退職給付制度の財政検証・財政再計算

■ 独自の巨大年金制度

地方公務員共済組合の組合員である地方公務員の皆さまが加入する年金制度には、厚生年金保険のほか、独自の制度として、年金払い退職給付制度があります。

年金払い退職給付制度は、現役の組合員約294万人（令和5年度末時点）が加入する巨大な年金制度です。

当連合会では、年金払い退職給付制度を長期にわたり安定的に運営するための年金数理業務を行っています。

■ 制度を支える年金数理業務

年金払い退職給付制度は、組合員及び地方公共団体が納めた保険料を積み立て、その元利合計を財源にして年金給付を受け取るといった事前積立方式による制度です。

そのため、組合員が将来受け取られる年金給付に必要な積立金が適切に積み立てられているかを定期的にチェックする必要があります。

当連合会は、将来年金受給者となって受け取られる年金給付額と収入の見込から積み立てておくべき金額を算定し、実際の積立金と比較することで、制度の財政状況を毎年チェックしています。これを「財政検証」といいます。

また、組合員及び地方公共団体が納める保険料の計算に用いる保険料率は、今後の年金給付額や標準報酬月額等の見込をもとに定めています。この保険料率を算定したときの見込と実際の年金給付額や標準報酬月額等は、時間の経過とともに徐々にずれが生じる可能性があります。そのため、当連合会では、定期的にそのずれを補正するために保険料率を見直す作業を行っています。これを「財政再計算」といいます。

■ 年金制度の安定的運営への貢献

財政検証と財政再計算は、年金払い退職給付制度を将来にわたり安定的に運営するために不可欠な業務です。

当連合会は、これらの年金数理に基づいた事業運営により組合員である地方公務員の皆さまの将来の生活の安定に貢献しています。

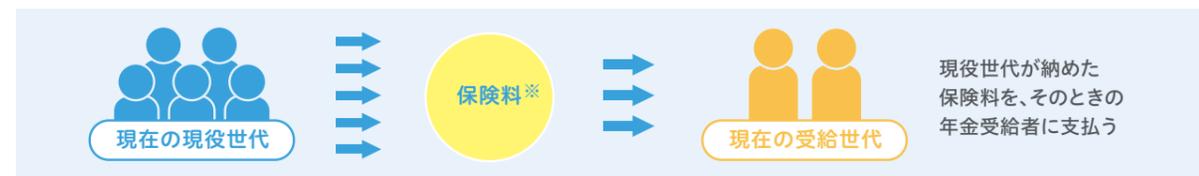
事前積立方式と賦課方式

事前積立方式とは



将来自分が年金を受給するときに必要な財源を、現役時代の間積み立てておく方式です。

賦課方式とは



年金支給のために必要な財源を、その時々々の保険料収入から用意する方式です。厚生年金と国民年金は賦課方式です。

※保険料は労使折半です。

03 年金システム等の開発・提供

■ 地方公務員の年金と当連合会の役割

地方公務員の皆さまの老後の生活を支える年金制度は、法律や制度改正により年々複雑化しています。当連合会は、共済組合が法令に基づき適正かつ円滑に年金給付事業（年金の決定・支給）を行えるよう、複雑化した年金制度に対応した年金システムの開発等を行っています。

また、マイナポータルを介した年金情報の提供や年金請求の手続き書類の簡素化を図るためのシステム開発も行っています。

■ 年金システム開発の変遷

当連合会は、1986年（昭和61年）に地方公務員共済年金制度が抜本的に改正されることを契機に、年金システムの開発・提供事業を開始しました。

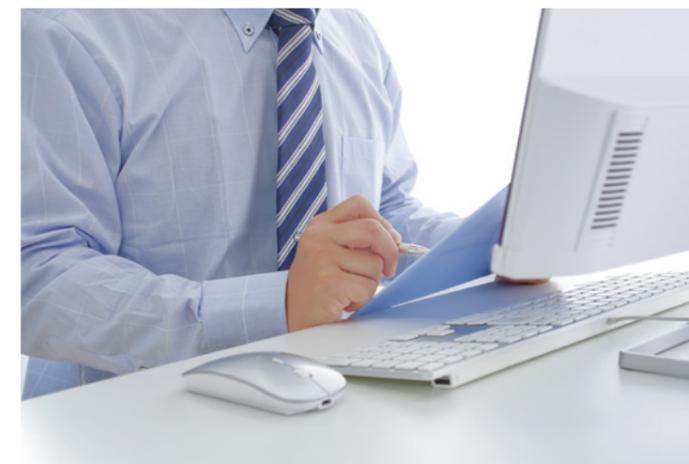
それぞれの共済組合が年金システムを設計・開発するには、相当な労力と経費を要することになります。そのため、共済組合の連合組織である当連合会が、地方公務員の年金給付事業に利用するための標準的なシステムを開発し、1986年（昭和61年）12月に共済組合に提供したのがこの事業の始まりです。

今日では、年金システムだけでなく、マイナポータルを介した年金情報の提供や年金請求のワンストップサービスなど、公的年金制度を取り巻く新たな仕組みに共済組合が対応できるシステムを開発・提供して、共済組合が適正かつ円滑な年金給付事業を実施できるよう、サポートしています。

■ 公共性の高い制度への貢献

地方公務員共済年金制度は、公的年金制度の一つとして位置づけられており、全体の奉仕者として地方公共団体の仕事に従事する地方公務員の皆さまの将来の生活の安定に寄与するために法令で定められた公共性の高い厚生福利制度の一つです。

当連合会は、この制度の実施主体である共済組合へ年金システムを提供することにより、地方公務員共済年金制度の運営の一翼を担っています。



当連合会で働く職員からのメッセージ



令和5年4月採用
N.M

令和5年4月 総務部総務課

日々の仕事

私が所属する総務課は、総務係、経理係、情報セキュリティ係の3つの係があり、私はその中の総務係を担当しています。総務係では、人事関係事務、職員給与の支給、物品購入や事務機器リース料などの業務上の費用の支払、職員住宅の契約、執務環境改善のための業務、共同採用試験の運営などを行っています。

担当する業務において、毎月の給与が適切に支給できるように、職員の申告をもとに手当の支給ができていないか、税額や保険料に誤りがないかなど、慎重に確認するよう努めています。

また職員に対し、健康診断や人間ドックの受診、超過勤務による過労や熱中症の注意喚起を行うといった職員の働き方を支えることにも取り組んでいます。

一日の流れ

8:45	9:00	11:00	12:00	13:00	14:00	17:00	17:30
出勤、スケジュールの確認	前日に作成した支払の決裁の確認と回付	給与の決裁資料の作成	昼食	衛生委員会に参加	議事録の作成	決裁資料の準備	退勤

採用時の志望動機

私は、公的な仕事をしたいと思っていたため、最初は公務員を目指して就職活動を進めていました。

就職活動を進める中で地方公務員に関する情報を集めていたところ、地方公務員共済組合連合会を知り、大学で社会福祉の勉強をしていたことから興味を持ち始めました。

当連合会の事務所訪問に参加し、公務員と大きく変わらない公的な団体であること、地方公務員の方々やその家族の生活を支えることができるやりがいがあることや、ワンフロアで職員同士の距離が近く話しかけやすい雰囲気の仕事ができることに魅力を感じたため、当連合会を志望しました。

やりがい・1年間働いて感じたこと

最初は知識が0からのスタートで不安と緊張でいっぱいでしたが、周りの先輩職員の方たちが優しく教えてくださるため、1年間やりきることができました。また、4月と10月には共同採用試験で採用された他の共済組合の職員と合同で行う研修があり、同期のメンバーと仲を深めることができました。

総務係の業務としては、昨年度新たに自動販売機とお菓子の販売サービスを導入し、職場の福利厚生に努めました。たくさん職員が利用しているのを見て、導入出来て良かったと心から思っています。また、職員給与の支給や請求書の支払いは、締め切りに間に合うか、金額に誤りがないか緊張感があり毎月心配になりますが、無事に給与が支給され、遅延なく支払いが完了できた時はとても達成感があります。



令和2年4月採用
K.M

令和2年4月 総務部企画課
令和3年4月 資金運用部企画管理課
令和5年4月 資金運用部運用第二課
(令和6年からオルタナティブ投資課に課名変更)

日々の仕事

私の所属しているオルタナティブ投資課は、年金積立金の委託運用のうち、不動産やインフラストラクチャー、プライベート・エクイティといったオルタナティブ資産の運用を担当しています。

私は担当する資産のプロダクトにおける運用状況の確認や資金移動の対応のほか、地共済全体のオルタナティブ投資状況の集計、各種会議資料の作成などを行っています。

一日の流れ

8:45	10:00	11:00	12:00	13:00
出勤、スケジュールの確認	打合せ	運用共済組合からのデータ集計	昼食	関係機関との確認、資金移動の確認
14:00	15:00	16:00	17:00	17:30
運用機関とのミーティング	信託銀行への連絡、決裁資料の作成	課内で調整する案件の取りまとめ	業務の期日やスケジュールの確認	退勤

地共連の魅力、職場の雰囲気

当連合会は、世界有数の規模の資金を運用する機関投資家で、多数の運用機関との取引があるほか、資金運用部には、経験豊富な先輩方に加え、関係共済組合や総務省、運用機関からの出向者が多く在籍しており、内外問わず、多様な価値観に触れることができる職場だと感じています。

また、職場内では、各所で打合せをする姿がよく見られます。情報共有や業務進捗の確認、対応方針の検討など、部署の垣根を越えて頻りにコミュニケーションが取られています。私自身、業務の進め方に迷った時には、先輩方によく相談させていただいており、事の大小を問わず、快く相談に乗っていただける環境があることにありがたさを感じています。

やりがい・5年間働いてみて

当連合会は、20兆円を超える資産を安全かつ効率的に運用し、年金給付などに必要な額を積み立てていくことで、地方公務員の皆さまの将来を支える縁の下での力持的な存在です。

担当する資産の資金繰りの確認や、公表するデータの集計といった数字を扱う業務は、ミスが許されないという緊張感もありますが、責任の重い仕事を任せただけにやりがいを感じています。

当連合会での業務も5年目を迎えましたが、資金運用の業務についてまだまだ知らないことも多く、1年目のような気持ちで働く毎日です。知識を1から習得することや、前例のない物事を組み立てていくことの難しさに直面することもあります。その分、課題をクリアした時の達成感もひとしおです。

皆さまと一緒に働けることを楽しみにしております。



令和2年4月採用
O.A

令和2年4月 総務部総務課
令和5年4月 年金業務部年金システム課

日々の仕事

私が所属する年金システム課では、地方公務員共済組合が年金の決定や支給に使用しているシステムの開発と、日本年金機構などの年金に関する情報交換を担っているシステムの開発や運営を主な業務として行っています。

私は、これらのシステムの開発に係る業務を行っていますが、システム開発といってもプログラミングを行うことはありません。開発するシステムが、より使いやすいものになるよう、法改正の内容やシステムのユーザーである共済組合職員からの要望などをもとに、システム改修の内容を決定し、開発者と協力しながら開発を進めています。

一日の流れ

8:45	10:00	12:00	13:00	15:00	17:00	17:30
出勤、スケジュールの確認	資料作成	昼食	開発業者との打ち合わせ	議事録の確認	成果物の検査	退勤

地共連の魅力

当連合会は、年金制度改正に伴い大きなシステム開発が必要となる場合には、日本年金機構や総務省などの関係機関と調整をしたり、制度改正の内容や共済組合職員からの要望をシステムに反映させる際には、共済組合職員の利便性が向上するようなシステムとなるよう検討を行うなど、地方公務員共済組合の全体を俯瞰した立場から仕事をする機会に恵まれています。

ほかの共済組合と異なり、年金の受給者や地方公務員共済組合の組合員の方と直に接する機会は少ないですが、このように規模の大きな仕事に携わることができることは、地共連特有の魅力だと思います。

職場の雰囲気

年金システム課では、定例的な開発から突発的な開発まで、常に同時並行で複数のシステム開発が進められており、課内の職員と互いに協力しながら業務を行います。このため、行き詰ったり、わからないことがあればすぐに共有して相談することができる雰囲気があると感じています。

また、私は年金システム課に配属となってから日が浅いので、年金の制度やシステム関連の専門用語などについて知識不足なところがありますが、わからないことは先輩職員に相談することができる環境があるため、不安なことひとつひとつ解消しながら業務にあたることができています。



令和2年4月採用
T.M

令和2年4月 総務部総務課
令和4年4月 年金業務部番号システム課

日々の仕事

私の所属している番号システム課では、主に、マイナンバーを利用した年金関係の情報連携を地方公共団体等と行うためのシステムの開発・運営を行っています。

私は、システムの機能・仕様に関する共済組合からの照会に対する回答や、システム利用マニュアルの整備等を行い、システムの利便性の向上に日々努めています。

また、所管する省庁との連絡調整を行い、法令改正等に伴うシステム改修の対応にも従事しています。

一日の流れ

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
出勤、スケジュールの確認	共済組合からの照会対応	システム運用に係る資料の確認	昼食	決裁作成
14:00	16:00	17:00	17:45	
システム開発案件に係る委託先との打合せ	所管省庁との連絡調整	システム開発案件に係る資料の確認	翌日の業務内容及びスケジュールの確認	退勤

地共連の魅力

番号システム課で開発・運営を行っているシステムは、共済組合で行う年金裁定事務に使用するシステムで、地方公共団体等とも繋がっている大きなシステムです。そのため、1つの誤りによる影響範囲が大きいので、システム開発等を行う委託先とは、適切な連絡や調整を行う必要があります。責任の重い仕事ですが、大きな規模で日々稼働しているシステムの開発・運営に携わることができることは、他の共済組合にはない地共連特有の魅力であると思います。

また、福利厚生も充実しており、休暇も取得しやすい環境です。1時間から休暇を取得できますので、プライベートの時間も充実させることができます。そのため、メリハリを持って働くことができます。

職場の雰囲気

当連合会は他の共済組合と違って人数が少ないため、規模が小さいと感じる方もいるかと思いますが、ワンフロアで他の部署とのコミュニケーションがとりやすいことも魅力の一つで、職員同士で気軽に話し合いをしている場面をよく見かけます。

また、私が当連合会に入職する前に感じていた当連合会職員の優しい雰囲気や人柄は、入職後もギャップはありません。日々の業務の中で分からないことがあった際には、相談しやすい環境ですので、知識・経験が豊富な先輩職員からサポートを受けながら、安心して業務に取り組むことができます。

■ 給与・勤務条件

01 給与

初任給：27万円

国家公務員の「一般職の職員の給与に関する法律」に準じて支給されます。

このほか、通勤手当、扶養手当、住居手当、期末・勤勉手当（ボーナス）等が支給されます。

02 休日・休暇・休業

休日：土曜日、日曜日及び祝日並びに12月29日から1月3日までの間

特別休暇：夏季休暇、産前産後休暇、小学校3年生までの子の看護等休暇（病気の世話や予防接種、入園・入学式など）、

生後1年に満たない子の保育時間、結婚休暇、配偶者の出産のための休暇、忌引き、ボランティア休暇など

※このほか、育児休業、介護休暇、病気休暇などがあります。

03 有給休暇

採用時に15日の有給休暇が付与されます。（翌年からは20日。）※年間の平均取得日数は、約14日です。

04 勤務時間

①午前8時15分から午後5時00分まで ④午前9時30分から午後6時15分まで

②午前8時45分から午後5時30分まで ⑤午前10時00分から午後6時45分まで

③午前9時00分から午後5時45分まで

※休憩時間は1時間で、午前11時30分から・正午から・午後12時30分からのいずれかで選択が可能です。

05 研修制度

採用後、1週間程度、他の組合・連合会の新規採用職員と合同で研修を実施します。

採用から半年経過後にフォローアップ研修も実施します。また、配属先の業務に応じた専門研修の受講機会があります。

06 資格取得

各種資格の取得等を通じ職員の資質の向上を図り、人材育成を行うため、資格取得に要した費用の一部を助成します。

具体的には、アクチュアリー、証券アナリスト、年金アドバイザー、社会保険労務士、簿記、情報処理技術者、衛生管理者などが対象となります。

07 職員住宅

当連合会による借上げ制度があります。

■ 職場環境

非常勤職員を含めて90名程度の職員がいますが、このうち女性の割合は3割強となっています。国家公務員と同様に、産前産後休暇（産前6週間、産後8週間）や育児休業（最長3年間）の制度があります。また、テレワーク勤務制度や子どもが小学校就学までの間、勤務時間を短縮できる制度もあり、柔軟な働き方が可能な環境が整っています。

なお、都内の他の共済組合との人事交流はありますが、地方への転勤はありません。安定しており働きやすく、大変やりがいのある職場です。

また、当連合会が入居するオフィスビルは地下鉄の2駅と直結しており、通勤に大変便利です。地下にはコンビニエンスストアのほか、飲食店も多く入居していますのでランチに不自由することはありません。ビルから一歩外に出れば、目の前には日比谷公園があり、お昼休みに公園まで足を延ばしてリフレッシュすることもできます。

ACCESS

最寄り駅からの所要時間

東京メトロ日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅：C4出口直結/C3出口 徒歩1分

東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関」駅：B2出口 徒歩5分

都営地下鉄三田線「内幸町」駅：A6出口より日比谷シティ経由で徒歩6分

東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅：1,9,10番出口 徒歩3分

JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、

ゆりかもめ「新橋」駅：徒歩10分

所在地

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング11階

TEL:03-6807-3677 FAX:03-6807-3693・3694

URL <https://www.chikyoren.or.jp/>

